

藤田源右衛門社長からマスクを受け取る山田浩昭校長＝浜松市南区の浜松特別支援学校で



浜松特支児童らへ

中区「エネジン」

新型コロナウイルスの感染予防に役立ててもらおうと、ＬＰガス販売の「エネジン」（浜松市中区）は十八日、浜松特別支援学校（南区）に不織布マスク七千五百枚を贈った。藤田源右衛門社長と社員が同校を訪れ、山田浩昭校長に手渡した。同校は二十五日から分散登校を開始する。寄贈品は同校の全児童生徒三百八十七人と、中区の城北分校、

磐田市の磐田分校の児童生徒、そして教職員に配布する。

藤田社長は「マスクが予想以上に入荷できて余裕があった。少しでも役に立てれば」と話し、山田校長は「分散登校でも教員含めて常に百六十人が学校にいる状態なので、とてもありがたい」と感謝した。

エネジンは浜松特別支援学校に加え、中区の浜松聴覚特別支援学校と浜松視覚特別支援学校に、計一万枚のマスクを寄贈した。

（大城愛）